

こんにちは

会社訪問記

お客様に対する、廃棄物の
総合コンサルタントでありたい

永一産商株式会社

(名古屋市港区)

名古屋市港区を拠点として、産業廃棄物の適正処理に取り組まれている永一産商株式会社におうかがいし、永井社長に事業へも意気込みを語っていただいたきました。

— まず、創業の年を教えてください。

永井社長（以下永井に略）
『昭和56年です。それ以前は業界のある会社に勤めていましたが、一念発起して独立し、事業をスタートさせたわけですね。最初の第一歩はクルマ1台からでしたが、現在は所有車両数も18台になりました。』



永井社長

— 取扱い品目の中では何がが多いのでしょうか。

永井『汚泥と廃プラスチック類が多いですね。当社は製造業のお客様との取引が多いので、この2品目が目立つのかもしれませんが。』

— 中間処理施設を所有されているということですが、どんな施設でしょうか。

永井『破碎、選別、溶融そして自社の廃棄物を焼却する設備を持っています。平成5年11月に許可を取得したばかりで、まだテストプラント的な稼働しかしていませんが、将来的には総合リサイクルセンターとして機能するような施設になればと考えています。また、自社廃棄物の焼却についてですが、現在地元の大学と共同して焼却時に出る熱カロリーをいかに有効利用できるかについて研究を重ねている最中です。』

— リサイクルについてはどのようなご意見をお持ちですか。

永井『われわれがこの業界で生き残っていくために不可欠な要素だということですね。ただし、適正な処理およびリサイクルを行うには、現状では非常にコストがかかることが悩みのタネです。しかし、行っていかなければならないことですから。あとはいかに採算ベースに乗せるかは企業の手腕次第です。難しいことだと思いますが。』



社名/永一産商株式会社 所在地/名古屋市港区春田野1-2001
代表者/永井良一 創業/昭和56年 従業員/19名 TEL./052(303)2282
事業所/本社 営業種別/収集運搬、中間処理(破碎、選別、溶融)
取扱い品目/燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、鉄さい、建設廃材、タスト類、引油性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、感染性産業廃棄物、特定有害廃油、特定有害汚泥

— では、従業員教育において心がけていることを教えてください。

永井『お客様との窓口は運転手であるべきだというのが私の持論です。運転手に営業マン的立場で物事を考え、お客様に接するように指導・教育を行っています。コミュニケーションがしっかりできる人材の育成が大切ですから、常に従業員のレベルを引き上げることを念頭においていますね。』

— この仕事について、どのような認識で取り組まれていますか。

永井『この仕事は、お客様に対するコンサルタントを行う総合サービス業であると考えています。もし、当社でわからないことが発生した場合は、お客様の疑問にお答えできる人、企業を紹介しています。自社利益ばかり追求するのではなく、どうすればお客様のメリットになるかを第一に考えるようにしています。』

— 最後に今後の展望を教えてください。

永井『中間処理施設を充実させ、総合リサイクルを行える企業体を目指しています。また、将来的にも最終処分場の不足が心配されるため、生き残っていくために積極的にリサイクルに取り組んでいく予定です。』



社内